

5-2 教育改革のための情報通信技術活用に伴う知識と戦略的活用の普及

5-2-1 教育改革IT戦略大会

本大会は、教育改革推進の基本問題、情報通信技術活用に伴う教育政策、教育効果を高める情報通信技術の活用方法、最新の情報技術及び情報環境などの専門的知識を普及することを目的として継続開催している。本大会の運営・実施は、教育改革IT戦略大会運営委員会（委員長：山崎和海、立正大学）を継続設置して対応した。

(1) 開催方針

21年度は、参加者アンケート及び文部科学省での審議の動向を踏まえ、次のような方針で開催プログラムを決定した。

- ① 初日は、教育改革推進の基本問題について認識を共有するため、教育の質保証システムへの取り組み、教員の教育力向上への取り組み、高大連携接続テストおよび、入学前教育などへの取り組みをとりあげた。
- ② 2日目は、教育の基本問題を解決するための具体的テーマによる分科会形式の討議を実施し、ICTを活用した教育政策、初年次教育、教育・学習支援、教育資産の管理・運用などをテーマとした。午後から同会場で開催する「短期大学部門FD/IT戦略会議」に短大関係者が参加しやすいよう、分科会は午前中に教育関係、午後には情報技術や情報環境のテーマを設定した。
- ③ 3日目は従来どおりの公募による教育・支援環境の事例紹介を行う。
- ④ 2日目と3日目の賛助会員企業によるポスターセッションは、大学・企業合同によるICT導入事例について、導入大学から直接感想や意見を聞く機会を設けることで、参加者により有益な情報を提供することにした。

(2) 開催結果

以上の方針のもとに、次ページの通り開催プログラムを決定し、9月1日、2日、3日の3日間に亘り、東京市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷（私学会館）を会場に開催した。参加は143大学、18短大、賛助会員は12社で、3日間の参加者数は3日目発表者や賛助会員を含めて406名となり、昨年度より約20名少ない結果となった。なお、大会の概要は巻末の資料編【資料11】を参照されたい。

(3) 次年度への準備

大会後、運営委員会では参加者アンケートを踏まえて、平成22年度の開催方針について検討を行った。日程および会場は、9月1日から3日の3日間、アルカディア市ヶ谷（私学会館）に決定した。

プログラムは、初日の講演や事例紹介のテーマと2日目の分科会テーマとの関連づけやねらいを明確にし、開催要項にも明示することにした。大会テーマは「大学の社会的責任について考える」などを予定しており、初日は、就業力育成や教育情報の開示に関する講演や事例紹介、2日目は、教育・学習支援の取り組み、基礎能力育成のICT活用教育、学習ポートフォリオ、学士力としての情報教育、クラウドの利用などとりあげることになっている。3日目は、例年通り公募によるICTを活用した教育や支援環境に関する発表を行い、2日目と3日目は大学・企業共同によるICT導入事例をポスターセッション形式で実施する。事例紹介等のVTR、レジュメのオンデマンド配信、開催結果のホームページ掲載を実施し、参加できない関係者に周知できるようにしている。

社団法人 私立大学情報教育協会
21年度 教育改革IT戦略大会 プログラム

9月1日 (火)		9月2日 (水)		9月3日 (木)		
参加費	加盟校・賛助会員 7,500円 / 非加盟校 11,250円	参加費	加盟校 賛助会員 7,000円 / 非加盟校 10,500円	参加費	加盟校・賛助会員 6,500円 / 非加盟校 9,750円	
会場	JF 富士	会場	別紙 (当日配布資料参照)	会場	5F 6F 地下	
10:00	会長挨拶	テーマ別自由討議 ※各講師名は別ページをご覧ください		大会発表(83件)		
10:05	教育の質保証システムへの取り組み 文部科学省中央教育審議会専門委員(大学分科会) 高祖 敏明氏(学校法人上智学院理事長) 国や関係団体など大学の質保証をめぐる取り組みの概要や教養教育の在り方について紹介する。	●分科会A ICTを活用した教育政策 学生カルテを活用した学生個別指導やクリック技術を活用した双方向授業について紹介いただき、教育改善のためのICTを活用した教育政策を探索する。 <課題提起> ・学生カルテ「はぐぐみ」による個別指導 札幌学院大学 ・クリック技術による双方向授業 東北大学	●分科会B 初年次教育と専門教育との連携 大学の教育理念・教育目標と連動した体系的な初年次教育や専門教育との連携について紹介いただき、初年次教育の在り方を探索する。 <課題提起> ・初年次教育を基本とした学士課程教育の構築 玉川大学 ・専門教育との連携による初年次教育 長崎大学	●分科会C 教職協同による教育・学習支援 大学間連携による教養教育や、学内情報を活用した教育学習支援システムについて紹介いただき、教職協同による教育・学習支援の在り方を探索する。 <課題提起> ・大学間連携による教養教育 愛美大学、首都圏西部大学単位互換協定会 ・ICT活用による能動的な学習支援の推進 名古屋学院大学	教職員によるICTを活用した教育・支援環境の事例紹介(発表一覧を参照)	
11:15	教員の教育力向上への取り組み 加藤 かおり 氏 (新潟大学大学教育開発研究センター准教授) 教員の教育力向上の取り組みの必要性や、日本としてどう対応すべきかなど、欧州の事例を踏まえ教員の意識改革について提案する。	12:30	大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介の概要 (15分)		10:00	A-1 B-1 C-1 D-1 E-1
12:30	休憩 (60分)	12:45	休憩 (75分)		10:20	A-2 B-2 C-2 D-2 E-2
13:30	高大連携接続テストの動向 ～「選抜」から「相互選択へ」～ 佐々木隆生 氏 (北海道大学公共政策大学院 特任教授) 高大連携に関する動きとして、高大連携接続テストの背景、現状、今後の予定について紹介する。	14:00	●分科会D 教育資産の管理・運用 情報管理の重要性と点検評価について当協会よりまとめを報告するとともに、外部データ管理センター活用に関するメリットやデメリットを大学から紹介いただき、情報環境・管理政策の今後の在り方を探索する。 <課題提起> ・情報セキュリティへの取り組み 私情協・情報システム研究委員会 ・外部データセンター活用のメリット 早稲田大学、共立女子大学	●分科会E 情報リテラシー教育の現状と今後の取り組み 専門教育と連携した学部規模での情報リテラシー教育の取り組みを紹介いただき、学生が最低限身につけるべき能力として、今後の在り方を探索する。 <課題提起> ・理工系教育と情報リテラシー教育 関西大学 ・経済学教育と情報リテラシー教育 獨協大学	10:40	A-3 B-3 C-3 D-3 E-3
14:30	休憩 (10分)	16:30	休憩 (15分)		11:00	休憩 (10分)
14:40	大学全入時代の高大接続の基本的考え方 長谷川 信 氏 (青山学院大学副学長) 初年次教育や高大連携の取り組み事例を交えながら、大学全入時代における高大接続について、大学の対応策を提案する。	16:45	情報交流会 (会場: 6F 伊吹)		11:10	A-4 B-4 C-4 D-4 E-4
15:50	e-Learningによる入学前教育の取り組み ・東海大学 川野辺裕幸 氏 (教育支援センター所長) ICTを活用した入学前教育など、高大連携の取り組みを紹介する。	18:00	終了		11:30	A-5 B-5 C-5 D-5 E-5
17:00	終了	参加費 加盟校・非加盟校・賛助会員: 5,500円		大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	11:50	大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介の概要 (20分)
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	12:10	休憩 (80分)
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	13:30	A-6 B-6 C-6 D-6 E-6
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	13:50	A-7 B-7 C-7 D-7 E-7
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	14:10	A-8 B-8 C-8 D-8 E-8
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	14:30	休憩 (10分)
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	14:40	A-9 B-9 C-9 D-9 E-9
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	15:00	A-10 B-10 C-10 D-10 E-10
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	15:20	A-11 B-11 C-11 D-11 E-11
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	15:40	休憩 (10分)
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	15:50	A-12 B-12 C-12 D-12 E-12
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	16:10	A-13 発表中止 C-13 D-13 E-13
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	16:30	A-14 B-14 発表中止 D-14 E-14
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	16:50	休憩 (10分)
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	17:00	A-15 B-15 C-15 D-15 E-15
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	17:20	A-16 B-16 C-16 D-16 E-16
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	17:40	A-17 B-17 C-17 D-17 E-17
				大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場を実施	18:00	終了

5-2-2 短期大学部門FD/IT戦略会議

本会議は、短期大学固有の教育課題について解決策を見出すため、教育改革努力の内容・方法等についての事例研究と情報通信技術の戦略的活用に関する知識の普及を目的として実施している。短期大学の現状を踏まえて、より戦略的な解決策を見出すことに重点を置くため、会議名称を「短期大学部門FD/IT検討会議」から「短期大学部門FD/IT戦略会議」に変更した。会議の企画・運営・実施は、「短期大学会議FD/IT運営委員会」（委員長：戸高敏之、同志社大学）を継続設置して対応した。

(1) 開催要項の決定

21年度は、短期大学の危機的状況を踏まえる中で、短期大学が果たすべき新たな役割や教育の再構築のあり方について認識を共有することにした。その上で教育の再構築に関する新たな取り組みの事例紹介を行い、地域社会との連携など教育課程の再構築に向けた戦略について模索することにした。また、昨年度同様に教育改革IT戦略大会と併催するので、短期大学固有のテーマを設定することにし、以下のとおりプログラムを決定した。

平成21年度短期大学部門FD/IT戦略会議開催要項

日時 平成21年9月2日（水）13：30～16：30
場所 アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館）

【開催趣旨】

多くの短期大学が危機的状況に直面している現況を打開するためには、教育改革を断行し、社会に信頼される教育研究活動を展開する必要がある。本会議では、短期大学が抱える固有の教育課題に関して、その解決策を見出すため、教育改革努力の内容・方法等について事例研究を行い、情報通信技術の戦略的活用について知識を普及する。

【開会挨拶】 短期大学会議FD/IT運営委員会 戸高 敏之 委員長

【基調講演】「短期大学の再構築に向けて」

日本私立短期大学協会会長、学校法人目白学園理事長 佐藤 弘毅 氏
短期大学を取り巻く危機的状況や山積する問題点を踏まえ、短期大学が果たすべき新たな役割や方向性、学士課程教育をはじめとした教育の再構築のあり方について、目白大学短期大学部の取り組みや今後の課題など踏まえながら提言する。

【事例紹介】「産学連携における教育改善事例」

埼玉女子短期大学キャリアサポート委員長 三ツ木 丈浩 氏
インターンシップを導入したキャリア形成支援教育の実践例を交えながら、埼玉女子短期大学における学科再編やカリキュラムの充実、教育方法の改善など、教育の再構築について紹介する。

【全体討議】「人間力、就職力を高めるための戦略」

短期大学では、独自性のある教育課程の編成、教育内容の充実、教育方法の改善、地域社会への貢献と連携など、多くの課題に積極的に取り組み、教育を再構築することが不可欠となってきている。全体討議では、短期大学が抱える問題や課題解決のための施策等について、事例を踏まえ参加者を交えて討議する。

(2) 開催結果および次回への準備

参加者は40名となり、当初の見込みの50名以上の参加には至らなかった。開催結果は巻末の資料編【資料13】を参照されたい。

その後、運営委員会では、参加者アンケートを踏まえて22年度の開催方針を検討した。アンケートでは、具体的な事例やそれに基づいたディスカッションなど、参加者が持ち帰って活用できるような実践的な企画を求める声が多かった。また、事例内容は、FDに関するもの、カリキュラム等の授業政策、ICT活用事例、大学連携などの要望があった。そのため22年度は、社会的自立、就業的自立を目指した基礎的能力育成の個別事例や短大連携の事例など、短大共通のテーマを設定する他、リメディアル教育の教材共有の仕組みを本協会から提案するなど、参加大学の改革に結びつく具体的な戦略を本会議で提案することで、短大関係者の参加規模を回復することにしている。



平成21年度短期大学部門FD/IT戦略会議